



独立行政法人
大学入試センター
National Center for University Entrance Examinations



大学入試センターの取組について

2026年8月25日・28日

独立行政法人 大学入試センター

- 1.大学入学共通テストの概要について
- 2.令和9年度大学入学共通テストの主な日程等について
- 3.大学入試センターの活動について

- 1.大学入学共通テストの概要について
- 2.令和9年度大学入学共通テストの主な日程等について
- 3.大学入試センターの活動について

大学入試センター法

第三条 独立行政法人大学入試センター(以下「センター」という。)は、大学に入学を志願する者に対し大学が共同して実施することとする試験に関する業務等を行うことにより、大学の入学者の選抜の改善を図り、もって大学及び高等学校(中等教育学校の後期課程及び特別支援学校の高等部を含む。以下同じ。)における教育の振興に資することを目的とする。

第十三条 センターは、第三条の目的を達成するため、次の業務を行う。

一 大学に入学を志願する者の高等学校の段階における基礎的な学習の達成の程度を判定することを主たる目的として大学が共同して実施することとする試験に関し、問題の作成及び採点その他一括して処理することが適当な業務を行うこと。

利用大学



連携

大学入試センター



問題の作成及び採点その他
一括して処理することが適当
な業務を行う

- 利用大学が共同して実施する
- 利用大学の入学者選抜の一部
- 大学入試センターとの緊密な連携体制のもと利用大学それぞれが責任を持って取り組む

数字でみる大学入学共通テスト



独立行政法人
大学入試センター
National Center for University Entrance Examinations

大学入学志願者を対象に、
高等学校の段階における基礎的な学習の達成の程度を判定し、
大学教育を受けるために必要な能力を把握するため、
利用する各大学が共同して実施

利用大学数

813大学



約9割

の4年制大学が利用
(国立・公立・私立)

試験場数



650会場
(本試験)

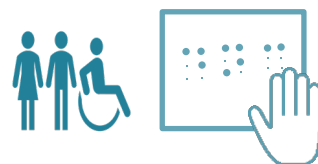
志願者数

約49.6万人



44.1%

の高校卒業見込み者が受験



受験上の配慮許可者数
4,381人

試験問題作成



7教科21科目
出題教科・科目数



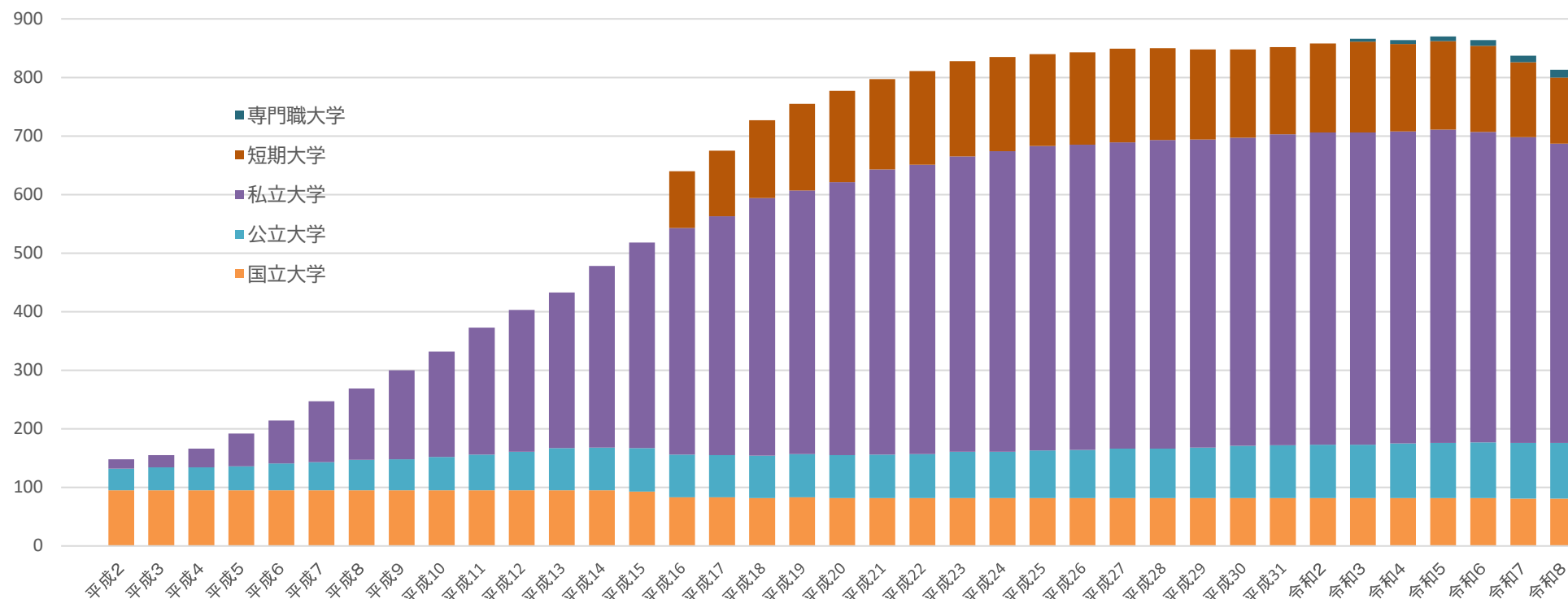
22分科会
約500名 1,200日/年
問題作成部会

大学入学共通テストの利用大学数推移



➤ センター試験導入時(平成2年度試験)の148大学から、現在は813大学が利用

大学数



	平成 2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31令和2	3	4	5	6	7	8	
国立大学	95	95	95	95	95	95	95	95	95	95	95	95	95	93	83	83	82	83	82	82	82	82	82	82	82	82	82	82	82	82	82	82	82	81	81		
公立大学	37	39	39	41	46	48	52	53	57	61	66	72	73	74	73	72	72	74	73	74	75	79	79	81	82	84	84	86	89	90	91	91	93	94	95	95	95
私立大学	16	21	32	56	73	104	122	152	180	217	242	266	310	351	387	408	440	450	466	487	494	504	513	520	521	523	527	526	526	531	533	533	533	535	530	522	511
短期大学															97	112	133	148	156	154	160	163	161	157	158	160	157	154	151	149	152	155	149	151	147	128	113
専門職大学																															5	7	8	10	11	13	
計	148	155	166	192	214	247	269	300	332	373	403	433	478	518	640	675	727	755	777	797	811	828	835	840	843	849	850	848	848	852	858	866	864	870	864	837	813

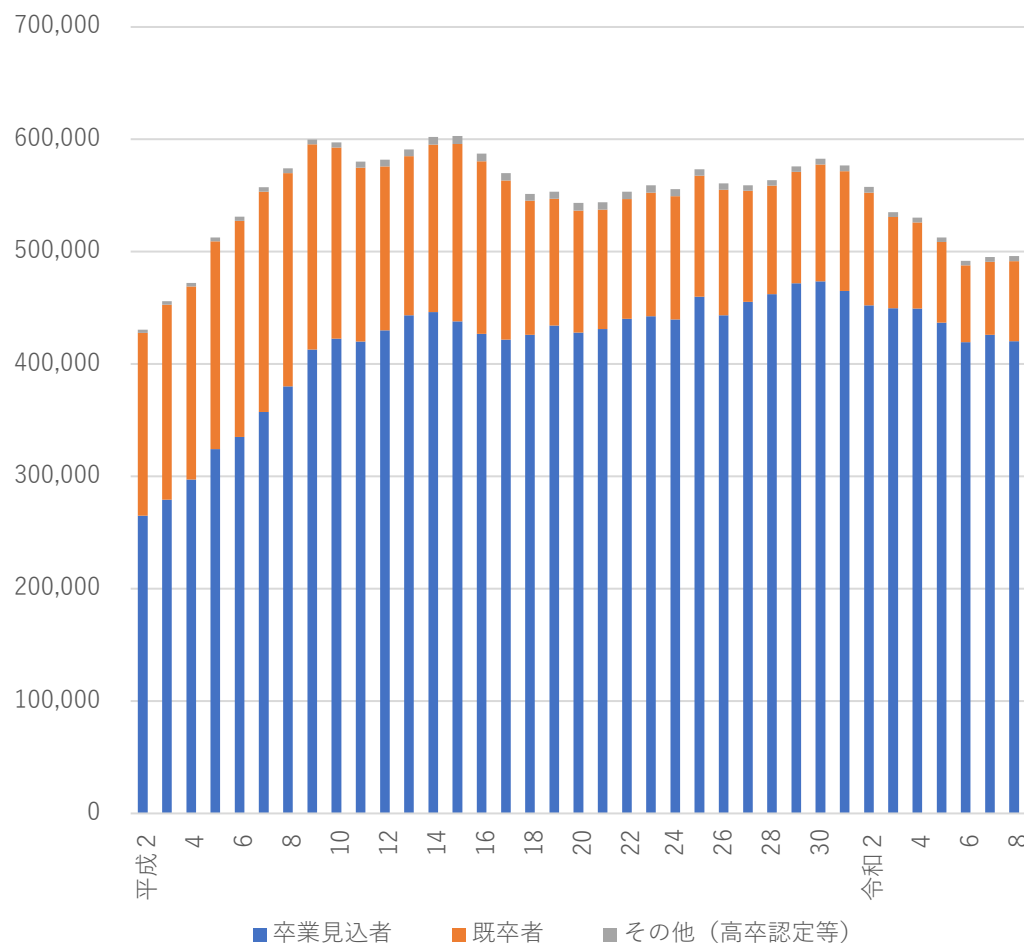
※ 専門職大学に専門職短期大学を含む

大学入学共通テストの志願者数推移

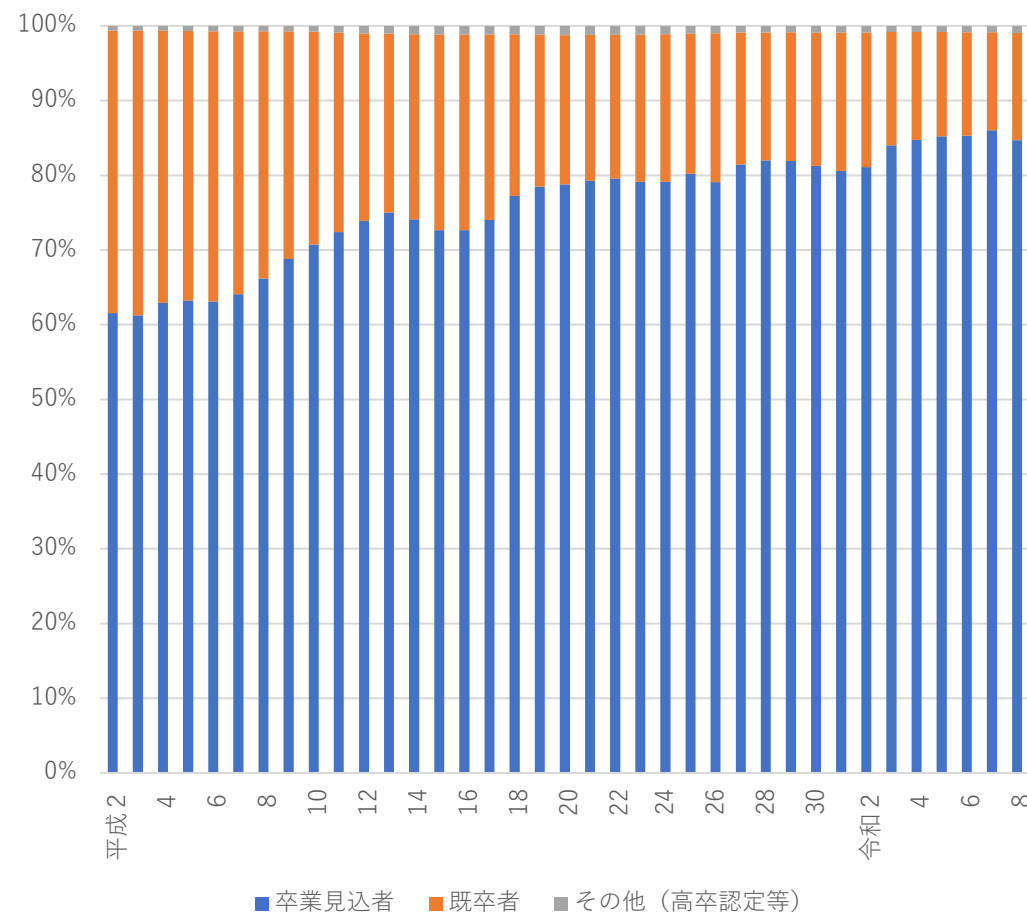


- 志願者数は平成15年度試験の60.2万人をピークに、直近の令和8年度試験では49.6万人
- 志願者に占める卒業見込者の割合は平成3年度試験は61.3%、令和8年度試験は84.7%

志願者数の推移(人数)



志願者数の推移(割合)



大学入学共通テストの志願者数等推移



独立行政法人
大学入試センター
National Center for University Entrance Examinations

令和8年3月現在

事 項	令和3年度 共通テスト	令和4年度 共通テスト	令和5年度 共通テスト	令和6年度 共通テスト	令和7年度 共通テスト	令和8年度 共通テスト
志願者数	535,245人	530,367人	512,581人	491,914人	495,171人	496,237人
試験場数(本試験)	681試験場＋ 50試験場※	674試験場	672試験場	663試験場	651試験場	650試験場
利用大学数	866大学	864大学	870大学	864大学	837大学	813大学
受験者数	484,114人	488,384人	474,051人	457,608人	462,066人	464,090人
成績提供件数	1,539,357人	1,532,350件	1,492,101件	1,494,434件	1,638,140件	1,737,684件
追試験受験者数	1,429人	1,354人	3,445人	1,429人	866人	864人
再試験受験者数	61人	183人	27人	6人	12人	47人

※令和3年度試験は、本試験を2回実施

センター試験からの主な変更点(主な点のみ)



	センター試験	令和3年度共通テスト(第1回)試験	令和7年度共通テスト(第5回)試験 (高等学校学習指導要領(H30)対応)
問題作成方針		高等学校学習指導要領において育成することを目指す資質・能力を踏まえ、知識の理解の質を問う問題や、思考力、判断力、表現力を発揮して解くことが求められる問題を重視	
国語	近代以降の文章(2問100点、古典(1問50点)、漢文(1問50点) 試験時間80分		- 近代以降の文章に大問を一つ追加し、試験時間を80分から90分に変更(10分増加) - 配点は近代以降の文章が3問110点、古典が2問90点(古文・漢文各45点)に変更
地理歴史、公民	『世界史A』『世界史B』『日本史A』『日本史B』『地理A』『地理B』『現代社会』『倫理』『政治・経済』『倫理、政治・経済』		『地理総合、地理探究』『歴史総合、日本史探究』『歴史総合、世界史探究』『公共、倫理』『公共、政治経済』『地理総合／歴史総合／公共』の合計6科目のうちから最大2科目を選択し、解答
数学	数学①『数学Ⅰ』『数学Ⅰ・数学A』 試験時間60分 数学②『数学Ⅱ』『数学Ⅱ・数学B』『簿記・会計』『情報関係基礎』 試験時間60分	「数学①」の試験時間を60分から70分に変更(10分増加)	「数学②」は『数学Ⅱ、数学B、数学C』の1科目を出題し、試験時間を60分から70分に変更(10分増加)
理科	理科①『物理基礎』『化学基礎』『生物基礎』『地学基礎』 理科②『物理』『化学』『生物』『地学』	「理科②」において、センター試験で出題されてきた選択問題は出題しない。	- 二つの試験時間帯(「理科①」と「理科②」)を一つの試験時間帯に統合 - 従前の「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」の4科目は『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』として一つの出題科目に統合し、『物理』『化学』『生物』『地学』と合わせて、合計5科目のうちから最大2科目を選択し、解答
外国語	『外国語(筆記)』 試験時間80分(200点) 『英語(リスニング)』 試験時間60分(解答時間30分)(50点)	- センター試験で出題されてきた「発音・アクセント・語句整序」を単独で問う問題は出題せず。 - 英語表記を、これまでのアメリカ英語に加え、場面設定によってイギリス英語も使用。 『英語(リーディング)』の配点を200点から100点に、『英語(リスニング)』の配点を50点から100点に変更	
情報	出題なし		「情報」を新たに出題教科として追加し、『情報Ⅰ』を出題

大学入学共通テスト出題科目構成



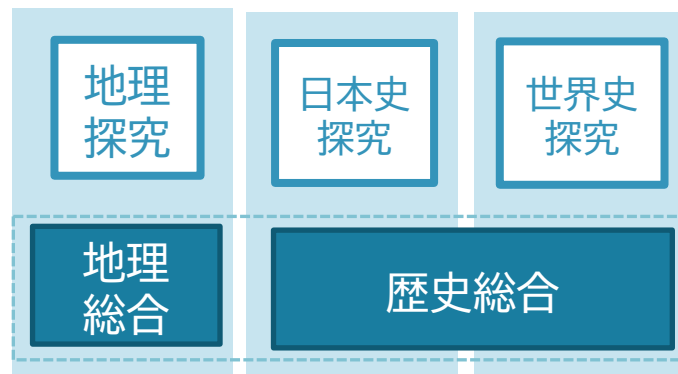
独立行政法人
大学入試センター
National Center for University Entrance Examinations

国語



『国語』

地理歴史



『地理総合, 『歴史総合, 日本史探究』
『地理総合, 世界史探究』

公民



『公共, 倫理』
『公共, 政治・経済』

グレー部分は
共通テストの
出題範囲外

『地理総合/
歴史総合/
公共』
(3つの中から
2つを選択)

数学

数学②
『数学Ⅱ, 数学B, 数学C』



数学①
『数学Ⅰ, 数学A』『数学Ⅰ』

理科

『物理』『化学』『生物』『地学』



『物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎』

英語



『英語』『ドイツ語』『フランス語』
『中国語』『韓国語』

情報



『情報Ⅰ』

- 教科・科目の目標を、「何を教えるか」ではなく、「何ができるようになるか」という視点で整理
- 「何ができるようになるか」(育成することを目指す資質・能力)を「知識及び技能」「思考力・判断力・表現力等」「学びに向かう力・人間性等」の3つの観点で整理
- 目標とする資質・能力を育成するために重要となる学習の過程について、「主体的・対話的で深い学び」の視点として整理
- 特に、「深い学び」として、各教科ならではの「見方・考え方」を働かせる学習の過程を重視
- すべての学習の基盤となる、言語能力、情報活用能力等を教科横断的に育成することを重視
- 情報機器を教科の特性に応じて活用することを重視
- 学習評価を指導や学習の改善につなげるため、「目標に準拠した観点別評価」として実施(評価の観点＝育成することを目指す資質・能力の3つの観点)

中央教育審議会「幼稚園、小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の学習指導要領等の改善及び必要な方策等について(答申)」(平成28年12月)

「高等学校学習指導要領(平成30年告示)第1章総則等を元に大学入試センターにおいて整理

第1 問題作成の基本的な考え方（一部抜粋）

1 大学への入学志願者が高等学校教育の成果として身に付けた、知識・技能や思考力・判断力・表現力等を問う問題の作成

- ・ 高等学校学習指導要領において「主体的・対話的で深い学び」を通して育成することとされている、深い理解を伴った知識の質を問う問題や、知識・技能を活用し思考力・判断力・表現力等を発揮して解くことが求められる問題を重視する。その際、言語能力、情報活用能力、問題発見・解決能力等を教科等横断的に育成することとされていることについても留意する。

2 各教科・科目の特質に応じた学習の過程を重視した問題の作成

- ・ 1に示した知識・技能や思考力・判断力・表現力等を適切に評価できるよう、出題科目の特質に応じた学習の過程を重視し、問題の構成や場面設定等を工夫する。

3 多様な入学志願者の学力を適切に評価する問題の作成

- ・ 2に示す問題作成の工夫を重視した上で、多様な入学志願者が十分に力を発揮し、1に示す知識・技能や思考力・判断力・表現力等を適切に評価できる問題となるよう、構成や内容、分量、表現等に配慮する。

第2 問題の構成・内容等（一部抜粋）

1 問題の構成・内容

- ・ 高等学校学習指導要領に準拠するとともに、高等学校学習指導要領解説及び高等学校で使用されている教科書等を基礎とし、特定の事項や分野に偏りが生じないように留意する。なお、知識・技能や思考力・判断力・表現力等を新たな場面でも発揮できるかを問うため、教科書等で扱われていない資料等も扱う場合がある。

2 問題の分量・程度

- ・ 問題の分量は、試験時間に応じた適切なものとなるよう配慮する。
- ・ 出題教科・科目に選択科目、選択問題がある場合は、選択科目間及び科目内選択問題間の平均得点率に著しい差が生じないように配慮する。

3 問題の表現・体裁

- ・ 障害等のある入学志願者を含め、全ての入学志願者が問題に取り組みやすくなるよう、問いかけの在り方や資料の提示の仕方、レイアウトの工夫等、問題の表現・体裁について配慮する。

4 出題形式

- ・ 多肢選択式又は数値や記号等で解答する形式により出題する。なお、連動型の問題を出題する場合がある。

第3 問題作成における障害等のある入学志願者に対する配慮

(一部抜粋)

- 問題の作成に当たっては、障害等のある入学志願者が情報を読み取ったり解答したりする過程で想定される様々な困難さを考慮したものとする。
- 障害等のある入学志願者に対する合理的な配慮を行うため、受験上の配慮事項を踏まえた問題(点字問題、拡大文字問題)の作成等を行う。

第4 出題教科・科目の問題作成の方針(略)

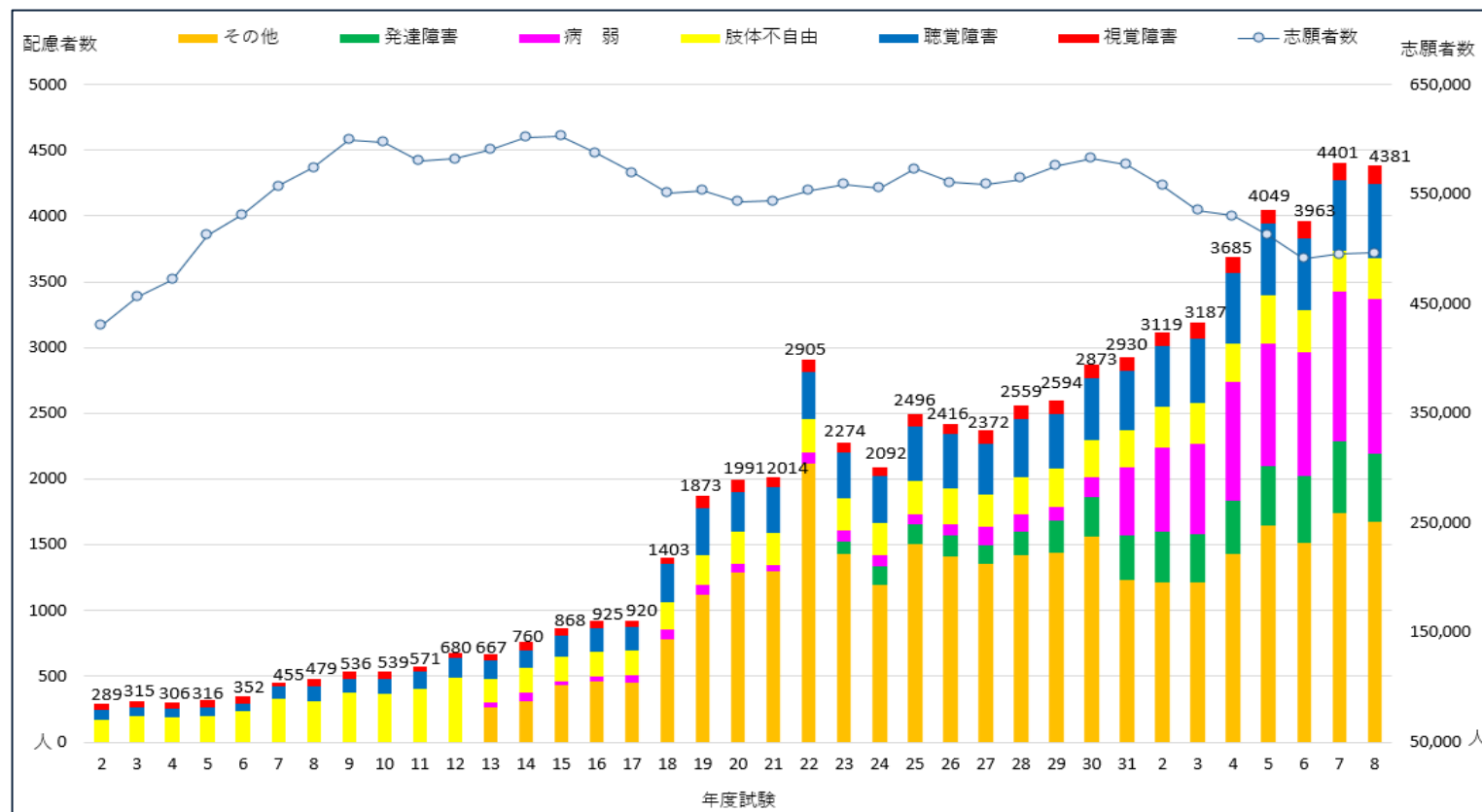
- 各出題教科・科目の問題は、上記の第1～第3に加え、以下に示す各出題教科・科目の問題作成の方針に基づき作成する。(以下略)

※ 各出題教科・科目の問題作成方針等については、大学入試センターHPに掲載しています。
大学入試センターHP「令和9年度試験」

(https://www.dnc.ac.jp/kyotsu/shiken_jouhou/r9/)



受験上の配慮許可者



区分	主な配慮事項	人数
視覚障害	時間延長、点字解答、文字解答、拡大文字問題冊子、拡大鏡等使用許可	138人
聴覚障害	手話通訳、監督者の指示事項の文書伝達、補聴器装用等許可、リスニング免除	561人
肢体不自由	時間延長、チェック解答、代筆解答、別室設定、座席指定、車椅子使用許可	317人
病弱	別室設定、座席指定、車椅子使用許可	1,176人
発達障害	時間延長、チェック解答、拡大文字問題冊子、別室設定、座席指定	513人
その他	別室設定、座席指定、車椅子使用許可	1,676人
計		4,381人

出題教科・科目



出題教科	グループ	出題科目	試験時間(配点)
国語		『国語』	90分(200点)
地理歴史		『地理総合, 地理探究』 『歴史総合, 日本史探究』 『歴史総合, 世界史探究』	1科目選択 60分(100点)
公民		『公共, 倫理』 『公共, 政治・経済』 『地理総合／歴史総合／公共』	2科目選択 130分(うち解答時間120分) (200点)
数学	①	『数学Ⅰ, 数学A』『数学Ⅰ』	70分(100点)
	②	『数学Ⅱ, 数学B, 数学C』	70分(100点)
理科		『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』 『物理』 『化学』 『生物』 『地学』	1科目選択 60分(100点) 2科目選択 130分(うち解答時間120分) (200点)
外国語		『英語』	リーディング:80分(100点) リスニング:60分 (うち解答時間30分) (100点)
		『ドイツ語』『フランス語』『中国語』 『韓国語』	筆記:80分(200点)
情報		『情報Ⅰ』	60分(100点)

※ 『 』 は出題科目を表す
※ “/”区切りは出題範囲を表す

- 1.大学入学共通テストの概要について
- 2.令和9年度大学入学共通テストの主な日程等について
- 3.大学入試センターの活動について

主な日程



事項		日程
マイページの作成		令和8年 7月1日(水)10:00 ~ 10月2日(金) 17:00
受験上の配慮申請		7月1日(水) ~ 10月2日(金)必着【郵送のみ】
出願	出願内容の 登録期間	9月15日(火)10:00 ~ 10月2日(金)17:00
	検定料等の 支払期間	9月15日(火)10:00 ~ 10月2日(金)23:59
出願内容の確認・訂正		10月9日(金)10:00~10月16日(金)17:00
受験票の取得・印刷		12月4日(金)10:00~
大学入学共通テスト 本試験 (追試験)		令和9年 1月16日(土)・17日(日) (1月23日(土)・24日(日))

- 令和8年度試験よりWeb出願を導入
- 出願方法について、高等学校等卒業見込者においては高等学校で取りまとめて出願する方式から、全ての志願者が個人でWebにより出願する方式に変更
- 高等学校等関係者向けサイトで、卒業見込者の同意により出願内容の情報を提供

主な変更点

紙による出願	マイページを作成し、個人によるweb出願
検定料の銀行・郵便局の窓口での払い込み	クレジットカード・コンビニエンスストア・Pay-easy(ペイジー)の3つの中から選択
受験票の郵送による受領	受験票をマイページ上で印刷して試験場に持参
希望者への郵送による成績通知	希望者はマイページ上で成績閲覧

令和9年度共通テストの主な変更点



出願について

- 今年度から、インターネット環境を利用することができない志願者に対する郵送による出願は行わない。
- なお、真にやむを得ない事由(注)により、Web出願ができない場合は、令和8年9月11日(金)までに大学入試センター事業第1課(03-3465-8600)に連絡。

(注)「パソコンやスマートフォンを持っていない」や「自宅にインターネット環境がない」などの理由だけでは該当しない。

通信機能のある電子機器類の取扱いについて

- 試験時間中は、電源が切られていても、かばんの中にしまっていないければ、使用しているものとして、不正行為となる。
 - ✗ 衣類のポケット等にしまっている
 - ✗ 机やイスの上に置いている
 - ✗ 引き出しの中に入れている

※ 通信機能のある電子機器類とは、携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末(スマートウォッチやスマートグラス等)、タブレット端末等を指す。

なお、電子辞書、ICレコーダー、ワイヤレスイヤホン、音楽プレーヤー等も、通信機能があれば該当する。

- 1.大学入学共通テストの概要について
- 2.令和9年度大学入学共通テストの主な日程等について
- 3.大学入試センターの活動について

<アドミッションリーダー研修の実施>

- 大学におけるアドミッションスタッフの育成を支援するため、アドミッションリーダー研修を開催。
- 2026年度は「入学者選抜における合理的配慮—より良い受付対応に向けて—」と題し、6月4日、5日に対面にて実施。
- 57名が参加、グループに分かれての議論や意見交換、演習を実施。

<過去の実施状況>

年度	テーマ
2025	テストはどうやって作られるのか？—テスト設計から問題の作成・評価まで—
2024	意外とカンタン！！体験しよう！CBT
2023	現場の実践から学ぶ障害のある受験生への合理的配慮の実施
2022	アドミッションリーダーに求められる知識と実践力

2026年度大学入試センター・アドミッションリーダー研修

入学者選抜における合理的配慮
—より良い受付対応に向けて—

2026年6月4日(木)・5日(金)開催

趣旨

2024年4月に改正障害者差別解消法が施行され、私立大学においても障害のある学生（受験者含む）に対する合理的配慮の提供が義務化されました。大学入学者選抜に焦点を当てると、受験に際して配慮を希望する志願者からどのような配慮を希望するかを聞き取り、個々の状況に応じて具体的な配慮事項を決定することが必要です。決定の判断には、志願者から必要十分な配慮申請書や根拠資料が提出されることが重要であり、受付対応はその第一段階として大きな役割を担っていると考えるでしょう。

本アドミッションリーダー研修は、大学入学者選抜における合理的配慮のなかでも、特に配慮事項決定の前段階である「配慮申請の受付対応」に焦点をあて、身に着けたい基本的事項を修得することを目指します。具体的には、配慮案内作成の工夫点、事前相談から配慮事項の決定までの全体フロー、申請書類やその背景にある理論・根拠などに関する講義と演習を行います。入試関連部署の教職員を中心に、大学入学者選抜における合理的配慮にご関心のある大学関係者のご参加をお待ちしています。

研修概要

川岸 哲也：「大学入学共通テストにおける受験上の配慮申請受付について」：大学入学共通テストにおいては、昨今、約4000人を超える受験上の配慮申請を受け付けています。大学入試センターではどのように受付を行っているか等、「受験上の配慮案内」を中心に説明いたします。

高橋 知音：「入試の合理的配慮申請における根拠資料の扱いについて」：入試において、どのような根拠資料があれば合理的配慮が認められるのでしょうか。事前相談の際にうまく説明できるように、また、申請があった際の確かな判断ができるように、根拠資料の種類や役割、それを用いた判断について理解を深めます。

立脇 洋介：前半「配慮申請前の支援体制の設計」：事前相談対応や情報提供に関する基本的な考え方と制度設計のポイントを概説します。そのうえで、各大学の状況についてグループで情報交換を行い、受験生が適切に申請へ至るための支援体制の在り方を整理・共有します。

後半「配慮申請後の審査・実施体制の構築」：提出書類の確認方法や審査の視点、配慮決定体制の基本構造を概説します。あわせて、申請書類の記載や判断に関するグループワークを行い、試験実施までの留意点を含めた実務上の要点を整理します。

場所：大学入試センター（対面実施）

東京都目黒区駒場 2-19-23 京王井の頭線「駒場東大前」駅より徒歩 6 分

参加費：4,000 円 | 定員：40 名 | 対面実施

※研修の配信なし、後日資料を Web にて公開

対象者：大学入試担当のアドミッションオフィサー、職員、教員、
又は大学入学者選抜における合理的配慮に関心がある大学関係者

お問い合わせ先：独立行政法人大学入試センター
☎ koukai@cen.dnc.ac.jp

<共通テストに関する調査研究>

- 試験問題の作成支援に関する研究
- 共通テストの各科目・各項目の統計的性質に関する研究
- 大学入学後の学修状況と共通テストとの関連に関する追跡調査研究
- その他共通テストの改善に関する調査研究

<大学入学者選抜の基盤的・実践的な調査研究>

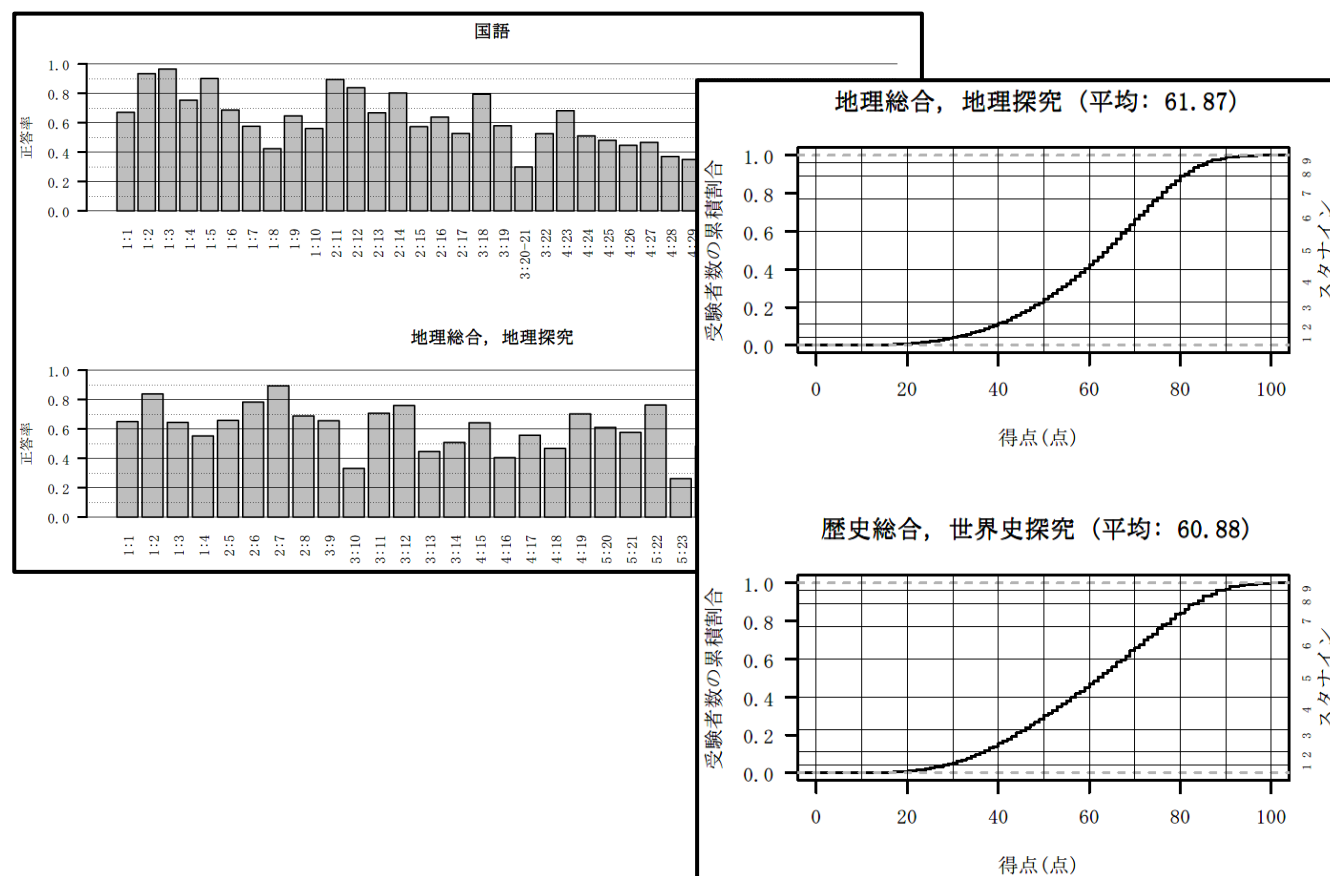
- 新技術を活用した入学者選抜に関する調査研究(CBTの活用に向けた大学等機関との連携等)
- 障害のある者等に配慮した入学者選抜に関する調査研究
- アドミッションスタッフの育成支援等に関する実践研究
- その他大学入学者選抜方法の改善に関する調査研究

試験情報データの公表



- 共通テストの更なる改善や高校・大学教育の改善に資するため、令和5年度試験より、外部評価報告書と合わせて、各設問別の得点率・正答率や科目別成績分布を公表
(<https://www.dnc.ac.jp/kyotsu/hyouka/>)

- ・設問別得点率
及び正答率(csv)
- ・科目別成績分布(csv)
- ・設問別正答率グラフ
- ・科目別得点の累積分布



大学入学共通テストに関する情報提供



独立行政法人
大学入試センター
National Center for University Entrance Examinations

令和9年度
大学入学共通テスト
試験情報

大学入試センターウェブサイトで
最新の情報を掲載していきます。

共通テスト 令和9



https://www.dnc.ac.jp/kyotsu/shiken_jouhou/r9/

<スマートフォン版>



<PC版>

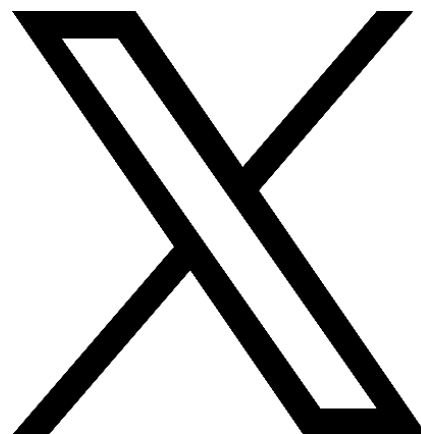


- ・受験案内
- ・志願者向け説明動画
- ・受験上の配慮案内
- ・共通テスト出願サイト
操作マニュアル、操作
方法説明動画

(12月上旬～掲載)

- ・受験上の注意

大学入試センター公式X(旧 Twitter)でも
令和9年度大学入学共通テストに関する最新情報を発信しています。※



大学入試センター

@DNC_Japan (https://x.com/DNC_Japan)

Follow us !



※ 公式Xでは、大学入試センターウェブサイト等における最新情報の掲載をご案内したり、その内容の一部を紹介する形で運用しています。
フォロワー等に限定して特定の情報を発信することはありません。